

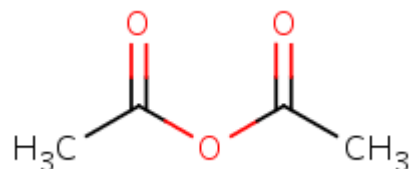
初期評価プロファイル (SIAP)

無水酢酸

物質名 : Acetic acid anhydride

構造式 : $C_4H_6O_3$

CAS No. : 108-24-7



結論と勧告

本物質は現在のところ今後の作業の優先度が低いと考えられる。

結論と勧告の根拠の概要

水コンパートメントでは無水酢酸は急速に加水分解されて (半減期 4.4 分) 酢酸となり、酢酸は容易に生分解される。大気中で本物質は酢酸に変わり、酢酸は光酸化分解を受ける (半減期 22 日)。水生生物に対する毒性は中程度であるが (18~3400 mg/L), 急速に加水分解されて酢酸塩・酢酸になるので、本物質は短時間存在するに過ぎない。本物質が生物蓄積する可能性は事実上ない ($\log K_{ow} = -0.27$)。PEC/PNEC 比は 1 よりもはるかに小さく、無水酢酸の環境へのリスクの可能性が小さいことが示される。

無水酢酸の重要な作用は接触部位の刺激性である。眼、皮膚、気道に対する本物質の腐食作用と刺激作用はよく知られており、臭気閾値が低いので、既に何年も前からばく露を予防するための手順、装具 (たとえばゴーグル、手袋、呼吸マスク)、訓練、技術的な管理 (閉鎖系) が適切に使用されている。本物質が製造されている施設および酢酸セルロースの製造に使用される施設における無水酢酸の濃度は 8 時間加重平均で 1 ppm よりも低い (4.2 mg/m^3)。SIAR に報告された新しい 90 日間試験の結果に基づいて加盟国の職業ばく露限界を改定するように提案する。無水酢酸は中間体としてのみ使用され、消費者製品産業において本物質が一般的に使用されているという指摘はない。

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写 (電子媒体への複写を含む) は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。